

設定の自動インポート機能について

このドキュメントは『LB パソコンロック 4 Pro』 Ver. 4.1.3に追加された「設定の自動インポート」機能について説明します。製品付属の「利用ガイド」、「Configurator利用ガイド」と併せてご利用ください。

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1. 設定の自動インポート機能について | 4. インポート用マスターの作成 |
| 2. Ver. 4.1.0以前からのアップデート | 5. 各クライアントへのインストール |
| 3. 新規インストール | 6. 設定変更を各クライアントへ配信 |

1. 設定の自動インポート機能について

設定の自動インポートは、Windowsのログオン時に、予め指定されたパス(ネットワーク共有フォルダー等)に更新された設定情報ファイル(鍵、パスワード、ロックの動作方法)を検知した場合、自動的にファイルを読み込んで自身の設定を更新する機能です。

【注意】

- 複数のPC上で作成した設定ファイルを1台のPCに読み込むことはできません。更新用の設定ファイルを作成するマスターPCを最初に決めておいてください。
- 既に複数のPCに『LB パソコンロック4 Pro』がインストール済みの場合、本バージョンへの更新でこれらすべてを同じ設定に同期させることはできません。マスター用PC(設定ファイルを作成するPC)以外は一旦アンインストールした後、マスターを設定して本バージョンを再インストールする必要があります。

【自動インポートの流れ】

- ① マスター用PCに『LB パソコンロック4 Pro』をインストール
- ② 続いて、マスター用PCに『LB パソコンロック4 Pro Configurator』をインストール
- ③ Configuratorにてインポート用設定ファイルを作成
- ④ 各クライアントPCに上記で作成した設定ファイルを読み込んで「LB パソコンロック4 Pro」をインストール
- ⑤ 鍵追加等の設定変更をマスター用PCで実行後、設定ファイルを書き出して、指定したパスに保存する。
- ⑥ 各クライアントPCはログオン時に更新された設定ファイルを検知して自動更新

2. Ver. 4.1.0 (4.1.0.2)以前からのアップデート (マスター用PC)

Ver. 4.1.0以前からのアップデート手順について説明します。

インストーラ「LB パソコンロック4 Pro.exe」、「LB パソコンロック4 Pro Configurator.exe」は上書きアップデート、新規インストールのどちらにも利用できます。

1. 管理者権限でWindowsにサインイン(ログオン)して「LB パソコンロック4 Pro.exe」を実行します。
2. ウィザードのメッセージに従ってアップデートを進めてください。
3. アップデート完了後にシステムを再起動します。
4. ユーティリティを起動すると、「設定のインポート」タブが追加されていることを確認することができます。この後の設定は「4. インポート用マスターの作成」をご参照ください。



5. 続いてConfiguratorのアップデート／インストールを行います。「LB パソコンロック4 Pro Configurator.exe」を実行するとインストーラが起動します。ウィザードの指示に従って操作を進めてください。

必要に応じて「LB パソコンロック4 Pro Configurator 利用ガイド」もご参照ください。

https://support.lifeboat.jp/docs/pl4p/pl4pcfg_guide.pdf

3. 新規インストール

新規にインストールする場合の手順について説明します。

【注意】

クライアントPC(設定情報を読み込む側)の場合は、本ドキュメント(P7)の「6. 各クライアントへのインストール」に従ってインストールする必要があります。

1. 管理者権限でWindowsにログオンして「LB パソコンロック4 Pro.exe」を実行します。インストールプロセスは前述のアップデートや通常の新規インストールと同様です。インストール完了後にシステムを再起動してください。
2. 再起動後Windowsにサインインすると「初期設定」ウィザードが起動します。「利用ガイド 第2章」を参考に初期設定を済ませてください。



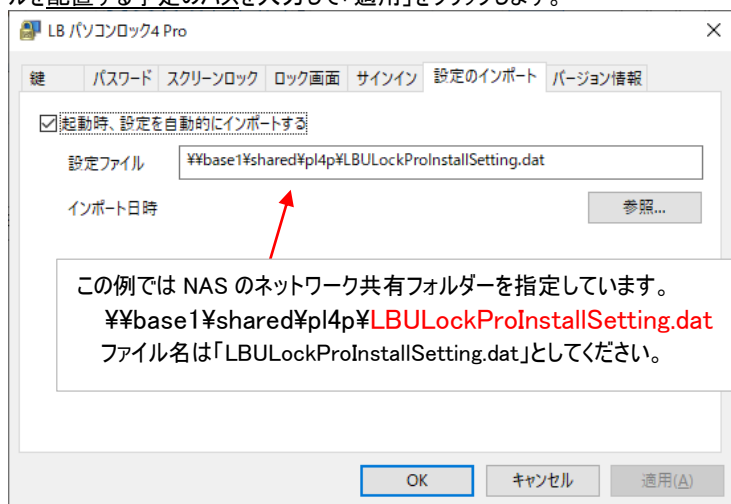
3. 『LB パソコンロック4 Pro Configurator』をインストールしてください。(Configuratorはマスター用PCのみインストールします。)

4. インポート用マスターの作成

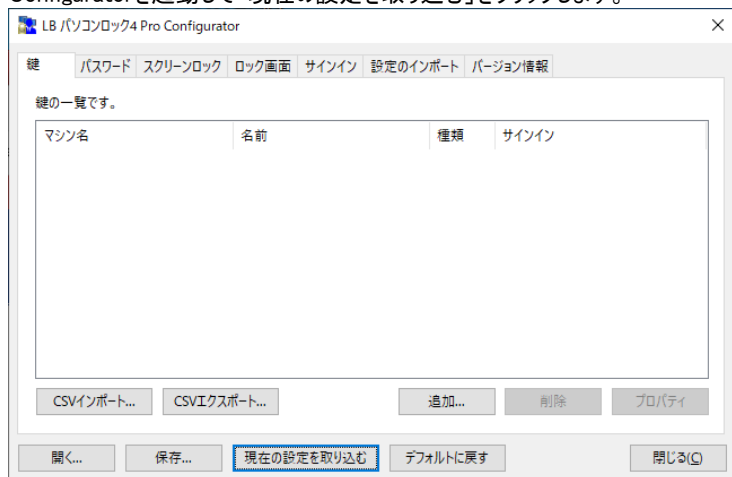
設定配布用(同期用)の設定ファイルを作成します。

設定ファイルは、インストール済みのPCからConfiguratorへ「取り込む」方法と、Configuratorで作成する方法があります。ここでは「取り込む」方法を例に説明します。

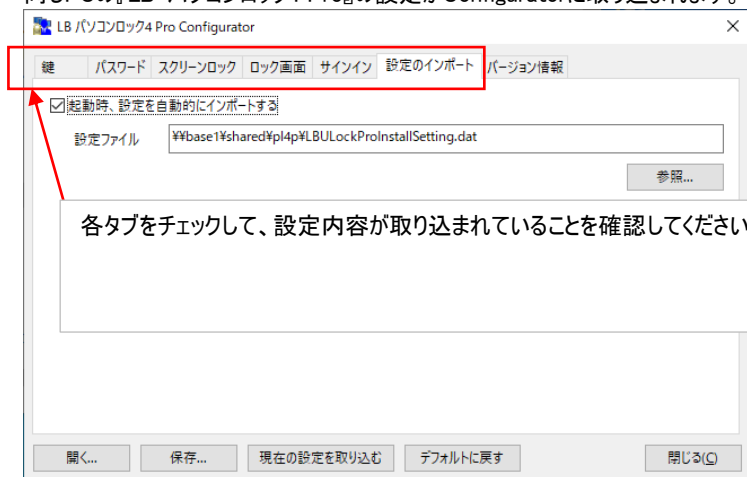
1. 設定済みの『LB パソコンロック4 Pro』のユーティリティから「設定のインポート」タブを選択して「起動時、設定を自動的にインポートする」をチェック、同期用設定ファイルを配置する予定のパスを入力して「適用」をクリックします。



2. Configuratorを起動して「現在の設定を取り込む」をクリックします。

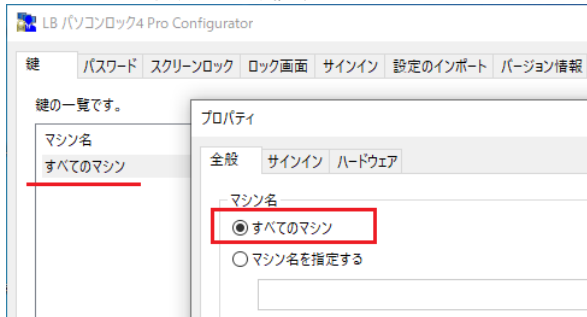


3. 同じPCの『LB パソコンロック4 Pro』の設定がConfiguratorに取り込まれます。

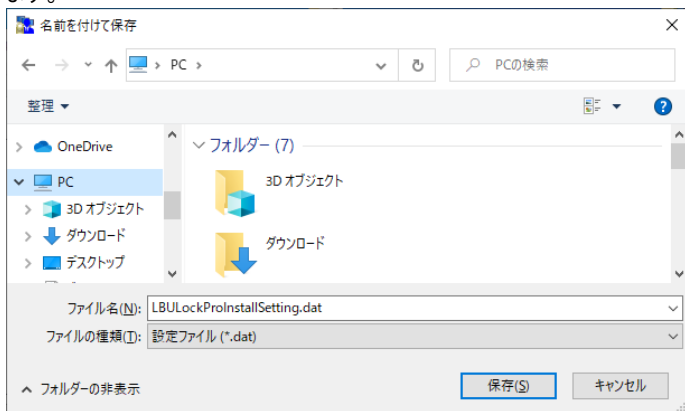


【取り込み時の注意】

「鍵」タブのマシン名を右クリックして、マシン名を「すべてのマシン」としてください。
個別マシン名を指定すると、複数のPC用のマスターにできません。



4. 「保存…」をクリックしてファイル名を「LBULockProInstallSetting.dat」として保存します。



5. 上記にて作成した「LBULockProInstallSetting.dat」は「各クライアントPCへのインストール時」および「設定変更時の自動更新用」に利用します。

6. 各クライアントへのインストール

Configuratorにて作成した「LBULockProInstallSetting.dat」を『LB パソコンロック4 Pro』本体のインストーラ「LB パソコンロック4 Pro.exe」と同じパス(フォルダー)に置いて、インストールを実行します。

※ 必要に応じてライセンスキーの同時読み込みや、サイレントインストールにも対応しております。

ライセンスキーの読み込みやサイレントインストールについては「利用ガイド 第4章 サイレントインストール」をご参照ください。

7. 設定変更をクライアントに配信する

クライアントPCへ『LB パソコンロック4 Pro』をインストール後、自動インポートが正常に動作することを確認します。

1. 設定ファイルを作成したマスターPCにて、設定内容を一部変更した設定ファイルを作成して「設定のインポート」で指定したパスにファイルを保存します。
2. クライアントPCを再起動後、「ユーティリティー」を起動して「設定のインポート」タブを表示します。

